

TimeTracker FX 3.8の新機能・改善項目

Rev. 20150410

カテゴリ	No.	機能	新機能・改善項目	Standard Edition	Professional Edition
Web Edition (プランナー)	1	ブラウザでのプロジェクト閲覧	Webアプリケーションとして、プロジェクト閲覧の機能を実現しました。 クライアントPCにTimeTracker FXがインストールされていなくても、Webブラウザを使用してプロジェクトの計画や進捗状況が確認できます。	●	●
	2	プロジェクトの部分閲覧	プロジェクト内のノードを指定して、プロジェクトを部分的に閲覧することができます。	—	●
	3	URLを指定してプロジェクトを開く	プロジェクトに固有のURLを指定して、目的のプロジェクトを直接開くことができます。 URLの情報をメールに記載するなどの方法で、プロジェクト情報の共有が容易になります。	●	●
	4	最近使ったプロジェクトの表示	直近5件分の履歴を表示し、そのリンクからプロジェクトを開くことができます。	●	●
	5	フィルタによるノードの絞り込み	「組み込みフィルタ」や「キーワードフィルタ」により、表示するノードを絞り込むことができます。	●	●
	6	表示フィールドの選択	プロジェクトで表示するフィールド(列)が選択できます。 また、並び順の変更も可能です。	●	●
	7	特定の場所へのスクロール	選択したノードの開始日や今日の位置に移動することができます。	●	●
	8	今日の線の表示	ガントチャート上で今日の位置を示す線が表示できます。	●	●
	9	進捗線の表示	ガントチャートの作業期間に合わせて進捗線が表示できます。 作業の進捗状況が視覚的に確認できます。	●	●
プランナー	10	プロジェクトを開く際のノード選択状態の保存	ノードを指定してプロジェクトを開く際に、前回の選択状態が記憶されるようになりました。 同じ状態で指定する場合、選択する手間が省けます。	—	●
対応環境	11	SQL Server 2014 に対応	データベースサーバーの動作保証環境として、Microsoft SQL Server 2014が追加されました。	●	●
	12	クラウド環境での利用に対応	AWS(Amazon Web Services) EC2やWindows Azure上でのサーバーの運用に対応しました。 ※TimeTracker FXを含むクラウドサービスが提供されるものではありません。クラウド環境において、TimeTracker FXのインストールが必要です。	●	●

●: 新機能・改善機能
—: 使用できない機能

※ 記載内容については予告なく変更される場合があります。